

商工労働常任委員会知事質問（3月18日）

1,（コロナ過での雇用対策について）

Q、大阪府は雇用対策として、自立的な就職活動をサポートする取り組みと、支援が必要な方に向けてきめ細かなサポートする取り組みと車の両輪として注力して実施していくべきと考えるが、知事の認識江尾伺う。

（知事答弁）

就職活動に課題を抱える方に対して必要なサポートを行うことも府の役割として重要であり、これまでの支援に加え、こうした方々を応援するため、特別相談窓口を令和3年度、新たに設置する。引き続き、公民連携した緊急雇用対策と、OSAKAしごとフィールドを軸とした総合就業支援の両方にしっかりと取り組み、様々な求職者のニーズに対応しながら早期就職を実現していく。

2,（府内中小企業DX推進について）

Q、パソコンの導入費用支援など、大きな資金でなくとも、中小企業や小規模事業者のデジタル技術活用に向けた第1歩を後押しするための資金面での環境整備が必要ではないかと思いますが、知事のご所見をお伺いしたい。

Q、府内中小企業のDX推進について、多種多様な課題に応じたきめ細かな支援を効果的に実施する体制の構築が必要と考えますが知事のご所見をお伺いしたい。

（知事答弁）

府内の中小企業が、デジタル社会に対応し、経営の変革や生産

性向上を図っていく、DXの取組みは喫緊の課題。府としては、中小企業支援の中核的機関である大阪産業局を中心に、府内中小企業のDXを支援していく。

- まず、資金面での課題については、支援意欲のある金融機関とのマッチング、制度融資や国の補助制度の活用を助言するなど、中小企業や小規模事業者の課題に応じた支援を行う。
- また、推進体制についても、大阪産業局の支援ネットワークやノウハウに加え、府と連携する民間のDX支援事業者の専門性を合わせ、相乗効果を発揮していく。
- このように、他地域にはない、大阪独自の官民連携による推進体制により、相談からデジタル技術活用に至るまでの幅広いサポートを進める。